Japanese Laid open Utility Model Publication No. 55-105072

Publication Date:

Title of the Invention: Safety razor holder

Application No. 54-004538

Date of Application: January 20, 1979

Applicant(s): K.K. Kaijirushi Hamono Center

Inventor(s):
Hiroshi Sugimura

Abstract:

A razor has a plastic handle extending in the longitudinal direction, a razor head extending in a direction orthogonal to the handle, and a metallic reinforcement plate for providing a heavy feeling when the razor is used as set with the handle.

公開実用 昭和55— 105072





実用新案登録願 ω

昭和54年1 月20日

特許庁長官 離谷 善二 殿

- 1. 考 案 の 名 称 **安全かみそりホルメー**
- 2. 考 案 者

 フリガナ
 住 所 **該阜県関市千年町2丁目5番地**スギ ムラ ヒロシ
 氏 名 杉 弘
- 3. 実用新案登録出願人

フリガナ 住 所 世界 センネンチョウ 岐阜県関市千年町2丁目5番地

株式会社 貝印 月物センター 氏 名(名称) (145) (国 籍) 代表者 **遠 藤 斉 治 朗**

4. 代 理 人 〒 電

佳 所 東京都中央区日本橋室町1-8木屋刃物ビル4階

奔照士(8415) 池 端 亨 一

氏 名 〒103 電話(241)2071-2072



5. 添付書類の目録

- (1) 明 細 暋 1通
- (3) 顯費副本 1通
- (5) 出版 至請求



(2) 図 面 1通(4) 委 任 状 1通

方式 (型) 105072

54 004538

- 考案の名称
 安全かみそりホルダー
- 2. 実用新案登録請求の範囲

プラスチックを材料とする安全かみそりホルダーにおいて、内部を切除して断面がコ字形の柄1の外個又は内側に外接又は内接するように、柄1とほど同じ長さを有し且つ断面がコ字形の金属製補強板2を柄1に装着したことを特徴とする安全かみそりホルダー。

3. 考案の許細な説明

本考案は、安全かみそりホルダーの改良にから わるものである。

従来の安全かみそりホルダーのうち特にプラス チック製の軽便安全かみそりホルダーは、重量が 軽すぎて使用の影に不安定感をおこさせる欠点が あった。

本考案は、この従来品の欠点を除去することを

目的とするものであって、その構成を説明すると、
アラスチックを材料とする安全かみそりホルダー
において、内部を切除して断面がコ字形の柄1の
外側又は内側に外接又は内接するように、柄1と
ないに接着したことを特徴とするものである。補強板を柄に装着する構造としては、図面で示したように、柄1の両側面に数多の孔部すべき設し、補強板の両側面に前配孔部3に嵌入するものが考えられる。

本考案は以上のような構成であって、ブラスチック製の安全かみそりホルダーの柄に金属製の補 強板が装着されるので、安全かみそり全体の重量 を増加することができ、使用の際に安定感が得ら れる効果がある。

また、柄1の内部を切除して断面をコ字形に形成すると、柄がプラスチック製であるために強度 が弱くなるのであるが、本考案においては、柄の 外銀又は内側に外接又は内接するように金異観情



強板を概に装着するから、柄の強度が増加する効果を奏する。

4. 図面の簡単な説明

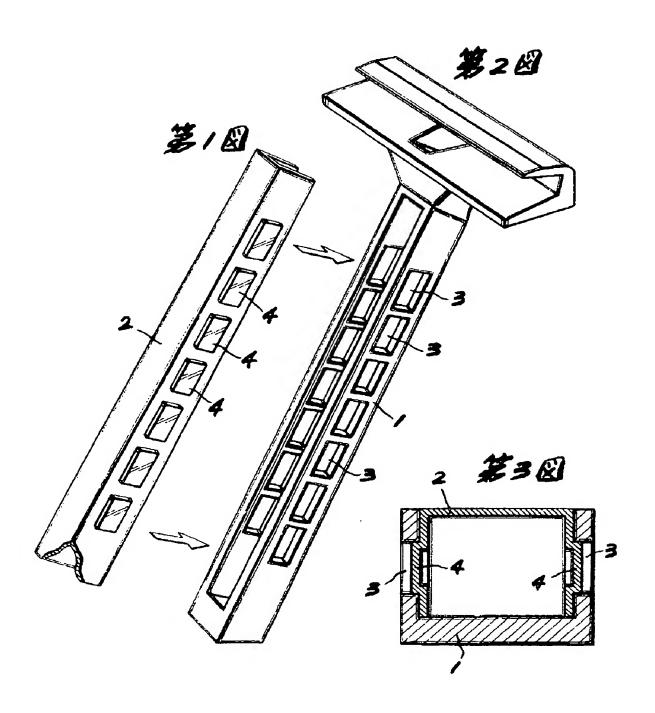
図面は実施例を示するのであって、第1図は金 展製補強板の斜視図、第2図は安全かみそりまル ダーの斜視図、第3図は柄に補強板を装着した状態を示す斯面図である。

1 · · · 柄 2 · · · 金属製補強板 3 · · · 孔部 4 - · · 凸部

実用新案登録出顧人 株式会社 貝印刃物センター

代理人弁理士 池 端 亨 一





100072

與用新家登録出願人株式会社具印刃物 429一 戏理人守理士 沙瑞 亨一